絶対貧困

著者名	石井光太	発行年	2011年
出版社名	新潮文庫	ページ数	323ページ
値段	540円	ISBN	978-4334975623
コメント	石井光太さん。私たちがおそらく一生関わらずに「済む」（←この２文字をゴチックとして読んでください）であろう世界を、ここまで深く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に知りません。 山室的立ち読みポイントは ・55-56ページ メイちゃんのお母さん ・164ページ 花売りビジネスモデル ・292-3ページ 売春宿の子供は高学歴		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
wors ☆☆☆	貧困国では日銭を稼ぐのも必死で仕事をしている人たちが殆どだという事実を改めて文章で読んで恵まれた環境にいることを実感した。			
	245-316	82P (60分)	292-293	2012/07/24 09:37:40
みーるすとーん ☆☆☆☆☆	貧困層の実態を筆者本人の経験をもとに述べている。筆者の経験談の部分で結構危ない状況がサラッと書いてあるが、筆者の行動力には敬服するばかりである。 ギリギリの生活を送っている人々の話である関係上、あまり品の良くない話が多いが、それでも一見の価値はあるだろう。			
	すべて	323P (111分)		2012/07/22 10:02:43
のん ☆☆☆☆☆	トイレも下水道もあり衛生面で恵まれている私たちのほうが特殊な世界にいるのかなと思ったりもしてしまいます。 この世の中、何が正しくてどこを目指していけばいいのか、難しいなと思います。「幸せ」とかがキーワードになってくるのでしょうか…？			
	1-74,162-165,245-323	156P (100分)	77-79ページ	2012/07/21 11:09:15
きちきぱ ☆☆☆☆	講義形式で、軽い口調。筆者とお喋りしているかのような錯覚に陥ります。 この手のテーマは貧困、飢餓、難民、と重々しく語られることばかりですが、実際にそうなのだろうか、と思っていたその答えを教えてくれる気がしました。 よりリアルに貧困の実態を知ることで、自分たちは何をすべきだろうかということを考えられるようになると思います。			

	3-35ページ	33P (20分)		2012/07/13 17:24:37

かやみん ☆☆☆	筆者が本に書いてあることを実際に経験してきたのだと思うと、すごいと言わざる得ない。日本では考えられない、考えにくい日常を知ることができたのはとてもいいことだと思ったが、同時にそのことを考えると閉口してしまった。この事実に向き合うには相当な意志力が必要だと感じた。			
	1-323	323P (180分)		2012/07/09 19:26:22

tottu ☆☆☆☆	貧困国における売春の実態は想像以上だった。勉強する意欲が湧く一冊！			
	246-286	40P (20分)		2012/07/06 18:20:17

ナラヅケ ☆☆☆☆☆	貧国の現状が、筆者の身体を張った取材により、垣間見えた。そして、私の夢である「貧国の困っている人を救いたい」という夢が加速した。夏休みにカンボジアにボランティアに行きます！！			
	全部	323P (240分)	全部	2012/07/02 16:46:28

七氏 ☆☆☆	やっぱり、こういうことは本で読んでもよくわからない。 本当に知りたい、どうにかしたいなら、絶対に現地に行くべきだ。 今、読み終わって、自分は現地に行きたいとは思わない。 だから、きっと主体的に向き合う気はないんだと思う。 申し訳ないけれど。 でも、知っているか、知らないかというのは大きい。 自分が生きる世界と違う世界に生きる人がいることを知っているだけで、何かの役に立つことはあるだろう。			
	全部	323P (210分)		2012/06/29 20:25:17

とまと ☆☆☆☆	著者の石川さんは明るく書いてるけど、私にはきつい現実が多かったです。メイちゃん・・・			
	1-172ページ	172P (120分)	53-56ページ	2012/06/19 13:05:44

ボトムズ ☆☆☆☆	筆者たくましすぎ！ 途上国の生活を知ることができたので読んでよかったと思ってます。 自分が一番きついと思ったのはトイレです。			
	全部	319P (180分)	36-42	2012/06/08 12:42:09

Azel ☆☆☆☆☆	ずっと【売春】＝【悪】という不動の等式を刷り込まされていたせいで、売春がなくなれば潰れる国もあるというフレーズにぞっとした。性というのは、秩序や様々なリスクと引換にはなるが生まれた身一つで効率的に利益を生み出す方法としてはかなり大きい。特に他にお金を得る手段が無い国ならなおさら。 自分の体をそれほどの危険に晒さず他にお金を得る手段が多い、雇用の安定した国の人間には一生かかってもわからないことなのかもしれない。			
	97-ラスト	220P (185分)	246-	2012/06/05 09:05:47

darvish ☆☆☆☆	売春編だけ読みました。 発展途上国の売春はかなり問題になっています。 具体的には、中国では30人に1人が売春婦、インドでは50人に1人。 韓国はGDPの５％、中国は６％。途上国では10%以上が性産業によるもので、性産業がなくなれば大量の失業者がでてしまうため、売春を合法としている国もある。 売春婦になった事情としては、やむを得ず、自ら望んで等様々。 日本人のHIV感染もそういった発展途上国の売春婦相手に起こることも多く、他人事ではない。 色々と考えさせられる1冊です。			

	245-319ページ	75P (40分)	全部	2012/04/24 12:13:17

長野に先いかれた ☆☆☆☆	物乞いビジネスすごい・・・。 この本は読む価値が十分あり。514円で、なかなか知らない世界を筆者の肉体をはった体験をもとに見せてくれてものすごく内容が濃い。 全般的に興味深いのは一つ一つのモノとか商売行動における値段を書いてくれている点で経済学をやっている身としてはとても参考になる。			
	1-297	297P (120分)	152-243	2012/04/22 01:53:32

しゃおろん ☆☆☆☆	「フライドチキンは元々、黒人奴隷のソウルフードだった」 「アフリカのある国ではカラシニコフという銃が千円で売られている」 「道路で用を足す子供」 モノに溢れた先進国で生活する僕たちには、創造できないことが、貧困国では当たり前のように起こっている。著者の実体験を基に語られるエピソードは、衝撃的でリアルなメッセージを含んでいた。真実は一つの側面からは明らかにはならない。だからこそ、本当の「貧困」とは何かを考える機会になった一冊でした。			
	1-172ページ	171P (120分)	第二講、第五講	2012/04/17 00:56:28

midnight express ☆☆☆☆	タイトルに惹かれました。この本には我々の常識や想像を超えるような世界が広がっています。個人的によく途上国を旅しますが、こんな裏社会まで調べた筆者の行動力にはただただすごいの一言です。とにかく、皆さんが持っている「貧困」というイメージが変わる作品だと思います。			
	全部	272P (60分)		2012/04/10 19:55:51

TOPへ

ルポ 貧困大国アメリカ　・

著者名	堤 未果	発行年	2008年
出版社名	岩波新書	ページ数	409ページ
値段	700円	ISBN	978-400431126
コメント	サブプライムに不法移民、所得格差が拡大するいっぽうなのは国家がそう仕向けてるから。ワーキングプアはイラクで傭兵と化す。テロより怖い民営化。 ぱんぱんぱんと立て続けに見せられて、ここまでヒドいのか、と唖然。ちょっと片方の局面を強調しすぎだとは思うものの、そのぶん主張はわかりやすい。それがベストセラー街道驀進の理由か。 そして、これが日本でベストセラーになるのは、明日は我が身の危機意識か、それとも、やあいアメリカン・ドリームも崩壊してるんだと野次馬的いい気分になれるからか。 などなど、いろんな読みを引き受けられる軽量＆パワフルな２冊。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ge90 ☆☆☆☆	アメリカがいかに“自己責任”で生きなければならず，しかも景気後退といった影響に左右されやすい貧困層ほど厳しい現状に驚いた．意外と日本も恵まれている			
	1-409	409P (240分)		2012/07/31 21:25:26
みーるすとーん ☆☆☆☆	不景気が続き、生活保護絡みの問題等も取り沙汰される中、この本で指摘されている問題は他人事ではないだろう。 ともあれ、何もせずにただ漫然としているだけで解決する問題ではない、という主旨の本であると感じた。			
	２のプロローグ、第１章、エピローグ、あとがき	79P (34分)		2012/07/31 21:18:18
とんぺい ☆☆☆☆	まずタイトルから目を疑いました。アメリカが貧困？アフリカの間違いだろと。 しかし内容を読めばアメリカも貧困にあることが分かりました。 アメリカといえば、「自由の国」であり、アメリカンドリームをつかめる国というイメージがあります。 しかしこの自由とは怖いものです。自由主義的な政策のせいで、貧困層はますます貧困に、中間層までがたった一度の病気のために破産してしまうなんて… 日本でもTPPの話で、アメリカの保険会社の参入や圧力によって、国民皆保険制度がなくなるのかもしれないという話をワイドショーかなんかで見ましたが、これは恐ろしいです。			
	1-141	141P (60分)		2012/07/31 16:44:37

Quuyi ☆☆☆	大学の学費が高すぎると感じた。アメリカンドリームは今もまだあると信じたい。			
	1 ー120	120P (70分)		2012/07/29 21:00:50

かやみん ☆☆☆☆☆	この本を読んでいると、ブッシュ政権は何をしていたのか疑問になった。マイナス面しか言われてないけど、実際どうなのか。			
	1-143	143P (90分)		2012/07/23 09:13:18

F-H304 ☆☆☆	今、自分は日本に生れて本当によかったと強く感じた瞬間であった。アメリカのような先進国でも発展途上国のように地獄のような世界を体験するなんて全く想像していなかったからだ。			
	1巻1-207	207P (45分)	なし	2012/07/19 21:04:35

wors ☆☆	サブプライムローンで弱者が食い物にされるという構図自体は理解できるが実際に問題はそこにあるのだろうか。 またフードスタンプはちょうど日本で生活保護の不正受給が問題になっていることから同様の制度が検討されているがその参考になると思う。			
	1-33	33P (15分)	16-17	2012/07/16 07:35:01

hitsea ☆☆☆☆	かなり極端な例を連ねていると思うが，真実もかなり含まれているのだろうと思う．自分は小さな政府により気味の考えであったが，教育や医療などは民営化してはいけない分野であるとも考えていた．それが実際に行われた結果どうなるかの1例を見ることができた気がする．ただやはりジャーナリストが書いた誇大なものという気もするのですべて鵜呑みにするのも危険だなと感じた．			
	1巻，2巻	418P (120分)		2012/07/14 17:33:58

midnight express ☆☆☆☆	アメリカの社会はうまく設計された蟻地獄のようなもの。貧しい者はより貧しくなる仕組み。まさに不都合な真実が描かれている一冊。日本も明日はわが身ではなかろうか。			
	すべて	207P (90分)		2012/06/27 11:50:43

しょう ☆☆☆	学資ローンの話が恐ろしかった．学資ローンには消費者保護法の適用がないから，借り手が死亡してさえも免除されることもなく執拗に追われるということ．元の学費が非常に高い上に利子も高いんじゃ何かの拍子に簡単に借金まみれ…．中流階級以下に厳しすぎる．			
	1-60(　巻)	60P (60分)	50-52	2012/05/22 18:58:18

bird ☆☆☆	少しプロパガンダ的すぎるとも感じるが、アメリカの貧困問題の具体事例について説明がされていて、アメリカの貧困問題というものが複雑な経済事情・利害関係などに根ざしていることが分かったと思う。			
	全ページ	423P (240分)	目次	2012/05/08 17:27:37

gorugo13 ☆☆☆☆	刑務所ビジネスというものが、存在することに驚愕。 さすが合理主義の国、アメリカ。 アメリカの属国化が進めば、将来の日本でも起こり得るかも。			
	1-409	409P (240分)	155-195	2012/05/08 08:50:53

	アメリカ貧困大学生の実態が垣間見れた。			

tottu ☆☆☆	「学費を免除してもらうために軍隊に入隊する」 ことにびっくりした。 日本の大学生はすごく恵まれていると思う。			
	100-141	41P (60分)	110-113	2012/05/01 13:07:09

20代男性 ☆☆☆☆	「貧困大国アフリカ」の間違いかと思って、タイトルと二度見してしまった。 アメリカという先進国のトップを走る国に生まれているひずみ。圧倒的な経済規模と、高い人口成長率を誇る国の現状は決して豊かではない。 共和党が進めてきた新自由主義のおかげで、富める者は富み、貧しいものは更に貧しくなった。貧困層だけでなく、中所得層からも搾取をして、成長する大企業。本来ならば、それを防止するべき政府が、逆に大企業を支援するという構造は、自由主義が間違いであることを示しているように思う。 弱者を生み出し、弱者を相手に儲けようとする貧困ビジネスには嫌悪感を感じる。相手の無知や経済的困難につけ込むことに、何とも感じなくなる世界が日本にも近づいているのかもしれないと、危機感を持たせてくれる本でした。			
	:1-207	207P (180分)	第4章	2012/04/26 13:35:35

長野に先いかれた ☆☆☆	学生である以上、アメリカの教育のローンの部分だけでも知る価値あり。皮肉を呈すると、一定程度すこし金銭的にきつい状態であれば、卒業+成績のために、学生が必死に勉強するインセンティブがあるかとも思ってしまうが、正直返済は尋常じゃない。欧米の生徒はその要因で相当な勉強量を積んでいることは十分に考えられる。 格差、貧困に対して何が問題なのかはとりあえずおいといて、機会が実はかなり平等でないことが一番きついことだと思う。 日本が優れているものを見直すとだけでなく、他国の状況を見て日本に足りないもの、すべきものを考えさえてくれる一冊。（日本が少なくとも誇れるものは国民皆保険。またたとえば高校の教師とかは雇用が守られすぎと思ったりもする。）			
	:p12-141,　:p1-195	315P (150分)	:p12-60	2012/04/17 11:51:44

TOPへ

子どもの最貧国・日本

著者名	山野 良一	発行年	2008年
出版社名	光文社新書	ページ数	273ページ
値段	861円	ISBN	978-4334034702
コメント	「貧困」から連想する国と言えば？ 所得格差の大きなアメリカ？ 飢餓で苦しむアフリカの国々？ 東南アジア？ 東欧諸国？ そう考えたあなたは、きっと日本には貧困で苦しんでいる人なんて一握りだと思っている人。 そんな人には、一度でいいから自分の今いる日本について知って、考えてみて欲しい。 データの見せ方・数字の使い方がとても上手。客観的にわかりやすく、見えにくいものを可視化するグラフはとても丁寧。社会問題に意識を向けるもよし、論文の書き方の参考にするもよし、一読で二度おいしい本でございます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Quuyi ☆☆☆	日本は本当にこんなに貧乏なのかと疑ってしまう。日本人にありがちな本当は大したことはないのに、必要以上に危機感をあおっているように感じてしまった。			
	1－50	50P (60分)		2012/07/29 20:58:55
Azel ☆☆☆☆	目次を読んで気になったところを飛び飛びに。目次の前の「はじめに」のところに例を持ってきた構成が良かった。今の日本の現状を見るに書いてあることは読む前に大体予想できたが データから作者が何を解釈し 抽出し 主張するのか という視点で見ると結構面白い。			
	(飛び飛びに)	75P (60分)		2012/07/27 12:08:38
ken3 ☆☆☆☆	貧困を文化、社会など色々な観点から考察している。 「貧困」に対してここまで議論が積み重ねられてきたのかと驚いた。 貧困問題というのは想像以上に根が深そうだ。 「競争と公平感」「使える！経済学の考え方」との関連が強いと思うので、そっちも読んでみるといいかも。			
	25-84	60P (50分)	51-84	2012/07/26 17:23:17
wors ☆☆☆	現状を知るのは重要だが人の汚い部分や目を向けるべきだった厳しい現実に打ちのめされてしまった。			
	3-12	10P (5分)	はじめにのケース2	2012/07/19 12:26:30

ocean ☆☆☆	日本は裕福であると当然のように思って生活していることは、もう時代遅れなのかもしれない。自分の知らない世界だと認めざるを得ないですね。			
	1-30,75-120	75P (30分)		2012/07/03 15:58:21

だもん ☆☆☆☆	今ホットな「生活保護」の章を中心に読みました。 信じられないほどひどい環境におかれている子どもが経済大国日本にもいっぱいいて、とても悲しくなりました。 現在は高齢者向けの福祉に重点を置く流れにありますが、もっと子どもや子育てをする母親に手を差し伸べるようにしなくてはなならないと思いました。 また、ソーシャルワーカーをもっと増やさないと、ソーシャルワーカーが過労で死んでしまうのではないかと思いました。			
	207-260	54P (40分)	6章	2012/06/19 13:09:09

darvish ☆☆☆	日本の子供が貧困？？？って思ったけど、この本を読んで確かに納得です。 何とかしなければいけない。			
	1-273ページ	273P (150分)	6章	2012/06/17 18:37:10

サン ☆☆	今話題となっている「生活保護」の部分を読んだ。 データを活用して説明をしていたが、本としてはあまり面白くなかった。あくまで個人的な感想だが……			
	207-260	60P (40分)		2012/06/11 21:01:01

hitsea ☆☆	福祉関係に務めている人が作者であると思いますが，どうも同情を引くために特にショッキングな出来事に題材が偏っている気がしました．もちろんそういったケースは無視してはいけないことだと思いますが，日本の現状を必要以上に貶めている印象があります．半分ぐらいしか読めていないのでちゃんとした評価を行うにはもっと読み込む必要があるとは思いますが．データが詳しく載っていることに関してはいいことだと思います．			
	3-124ページ	121P (50分)		2012/05/22 12:48:38

UT ☆☆☆	豊かに見える中でも、現実やデータであぶり出される貧困の実態があります。自分の住んでいる世界だけが全てではないのだと思いました。			
	3－84，235－260	108P (80分)	第1章のデータ系	2012/05/15 12:37:38

bird ☆☆	貧困家庭が子供の成長に及ぼす影響についてモデル化された図が分かりやすかった。ただ、大人の子供への影響に的を絞りすぎて、子供の大人への影響のフィードバックはあまり重視されていないのが気になった。			
	3-260ページ	258P (150分)	168ページ、179ページ	2012/05/08 17:21:05

ダンボール ☆☆	働かないひとり親家庭より働くひとり親家庭の方が貧困率が高い？ 政府介入前より政府介入後の方が貧困率が高い？ 日本が抱える児童養護問題の意外な事実と社会との相関に驚かされる。メディアでは高齢化の介護問題の「声」が大きい中、児童養護施設の職員１人あたり子ども１０人がケアしているといった今の子どもが直面している現実にもしっかり「目」と「耳」を向けないといけないと感じた。 なお、まとめは６章以降だがその案内があまり書かれていない少し不親切な構成になっている。 キーワードは児童養護施設と水際作戦。			
	1-50,207-233	80P (60分)	37-50	2012/05/05 09:32:13

とまと ☆☆☆☆☆	児童の虐待や学力、成人後の賃金など、「個人の問題」とされがちな事態について、貧困との相関性の強さに驚いた。 特に虐待については親の未熟さを責める報道がほとんどだが、貧困による肉体的精神的困窮のなかで育てるリスクの大きさを感じた。			
	1-203	203P (120分)	104-113	2012/05/03 00:01:09

gorugo13 ☆☆☆	私立の中学高校と恵まれた教育および家庭環境で育ってきた自分は貧困に直面している人との接点がほとんどないまま生きてきた。この本に記されている統計データは生々しく、日本国内に凄まじい環境で生活している子供がいる事実を知った。 また、子供の貧困問題を解決することが将来の国の経済へと及ぼす影響が大きいことから、アメリカでは積極的な研究が進められている。日本は現在、アメリカと同じような極端な格差社会の構造へと近づいてきているという事実もデータから語られており、子供の貧困問題の解決の重要性を痛感させられた。			
	1-260	260P (200分)	132-136	2012/05/01 12:17:33

ahoyan ☆☆☆☆	本のタイトルに惹かれて手にしたこの本。客観的なデータを基に貧困について考察している。貧困の生み出す副次的作用には気がつかなっかたものも多く、考えさせられる一冊だった。			
	1-150	150P (120分)		2012/05/01 11:49:01

TOPへ

ネット大国中国——言論をめぐる攻防

著者名	遠藤 誉	発行年	2011年
出版社名	岩波新書	ページ数	219ページ
値段	798円	ISBN	978-4004313076
コメント	お隣中国のネット事情について。ネットに政治的に介入する中国側の施策の裏側と、ネットユーザーの感情とがやけに生々しくて面白い。 中国版2009年の漢字は『被』だそうだ。「被自殺」「被代表」「被増長」、なんだよそれと思ったら、p93へGO。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
だもん ☆☆☆☆	アフリカレポートやこの本のように海外の事情を日本語で伝えてくれる図書は貴重である。 第5章のテーマは「80年代生まれの若者とネット空間」だ。 同年代の中国人の考え方が少し理解できた気がしたが、 昼間は反日デモをし、夜は日本のアニメを楽しんじゃう中国人の若者のダブスタは理解に苦しむ。			
	全部	219P (120分)	5章	2012/07/27 14:36:57
takenokonosato ☆☆☆	Googleが中国から撤退したことの経緯が気になって読み始めたが、中国のホンダの労働者が賃上げの成功をしたことが、中国全土に知れ渡ってしまったため中国政府がネット規制したことに日本との違いを感じた。 確かに、人件費が安いから中国に多くの企業が集まっており、人件費の上昇は中国から企業が撤退することに繋がってしまうから仕方のないことなのかな。。。			
	1-55	55P (30分)	49-55	2012/07/21 16:43:23
とまと ☆☆☆	グーグルの件が気になり読みました。中国のネット検閲は厳しいと聞きましたが、場合によっては利用している、というのも恐ろしいと思いました。また、網民（ネット民）の検閲に引っかからないための努力が垣間見えました。			
	1-86	86P (120分)	2-24ページ	2012/07/11 11:59:52
F-H304 ☆☆☆	日本と近い距離にありながら、やっていることや考えていることが日本とは全く違う国、それが中国であり多くの人がこの状態に苦しんでいる。自分の意見を言っただけで逮捕され拷問を受け殺されてしまったりとひどい状態になってしまっている。自分の意見をしっかりと主張できるような平和な世界になることを願いたい。			
	1-219	219P (60分)	なし	2012/06/19 21:17:39

luffy ☆☆☆☆	中国人として、中国政府は滅ぼすかな！！！ 新しい中国を創りなおそう			
	1-25ページ,115-211ページ	121P (240分)	1-25ページ,115-211ページ	2012/05/30 18:38:52

midnight express ☆☆☆☆	インターネットはまるでパンドラの箱であり、中国当局が13億もの人民を統制するのは不可能に近いのではないかと思えた。個人的に8月から北京に留学するので、ネットには気を付けないとおもった。			
	1-200	200P (120分)		2012/05/16 22:55:37

bird ☆☆☆	中国というと近年めざましい経済成長を遂げ存在感を増大させつつある、共産党一党独裁のやりたい放題の国というイメージが日本人はあると思う。 しかしこの本を読むとIT、インターネットの隆盛を通して共産党と中国人民の両者が民主化・格差・外交などの問題に試行錯誤している新しい中国人像が見て取れる。 特に萌えキャラを使って政策を揶揄する文化は日本と共通しているのが印象深い。			
	1-219ページ	219P (180分)	112	2012/05/11 16:19:41

プー ☆☆☆☆	改めて中国の現状を知ることができた. googleが中国から撤退したというニュースがあったが，この裏には中国政府との激しいやり取りがあった．特に政府による検閲が日本では考えられないくらい徹底していて，驚かされた. 経済力が大きくなった中国だからこそ，これからどのように接していくべきなのか，考えさせられた.			
	1-161	161P (90分)		2012/05/07 09:21:10

darvish ☆☆☆☆	日本では疑いもなく常識だと思っていることが、海外ではそうでなかったりする。その一つが中国における政府のインターネットの情報の検閲、規制、削除であり、この本はそれについて書かれている。 中国のネット人口は４～５億人であり、最近では民意が大きく政府に影響を与えることが増えてきた。それを抑えるために政府は上述したようなことをやってきたが、世界第2位の経済大国となった今それについて少し考える必要があるかもしれない。			
	1-115ページ	115P (40分)	なし	2012/04/11 16:06:52

TOPへ

サハラ、砂漠の回廊

著者名	野町和嘉	発行年	2010年
出版社名	新潮社	ページ数	119ページ
値段	3,400円	ISBN	978-4104025039
コメント	タッシリ・ナジェール、サハラ砂漠の最深部。 忘れないでほしい。ここはかつて、水ゆたかに溢れ、カバやワニが悠然と泳ぎ、人びとが白黒まだらの牛を飼って暮らした恵みの地であったことを。祭りの日には仮面を付けてみんなで踊り、祈りの時には両手を掲げて白い巨人を遙拝した繁栄の地であったことを。 エジプトに文明が栄えるずっとずっと昔。紀元前七千年から八千年間もの永き時を描き継がれてきたという岩窟の砂絵。不思議な乳房の描き方に見入りつつ、古代びとの呼び声に耳を澄ます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ge90 ☆☆☆	大昔に壁画を描いた人たちはまさかこんな後になってからもその絵が見られるとは思ってもみなかったんじゃなかろうか. 今から5千年先に何が残ってるかなんて想像もつかない.			
	1-119	119P (30分)		2012/07/31 22:15:32
41 ☆☆☆☆☆	サハラ砂漠という厳しい環境かにおいても人間の文化が力強くいきていて、本当の不毛な砂漠でないことと、人間の生命力の起源を感じた。			
	すべて	119P (40分)	p30-p31	2012/07/31 20:29:31
moe273g ☆☆☆☆	サハラ砂漠が昔はとても植生豊かで恵まれた場所であったことが、壁画を通してあざやかに映し出されています。とってもきれいでうっとりしてしまいました。あの何も無い今の姿と壁画のギャップが大きすぎて、砂漠を見る目が変わりました。			
	全て	119P (30分)		2012/07/31 17:17:03
w ☆☆☆	古代の壁画は、何を思って描かれたものなのだろう。 現代人がそれらに芸術性を見出していることも面白い。			
	1-119	119P (30分)		2012/07/09 18:06:57
TAN	動物や人々の営みが生き生きと描きた壁画だ。不思議だと思う。			

☆☆☆☆	全て	1P (119分)		2012/07/03 17:17:07

ごん ☆☆☆	砂漠の写真はまるで物語の世界。すべてが異世界に思えるだろう。死ぬまでに一度は訪れてみたい。			
	全部	119P (30分)	35.36ページ	2012/06/26 13:09:03

darvish ☆☆☆☆	砂漠がまるで芸術として捉えられていて非常に面白かった。			
	全て	119P (30分)	全て	2012/06/19 15:11:54

プー ☆☆☆☆	砂漠といえば一面砂というイメージがあったが，実際には場所によって違いがあり，同じ砂漠でもいろいろな姿が見てとれた. また，壁画にはその当時の人々の思いがしっかり描かれており，その意味を読み解いていくのが面白かった．機会があれば行ってみたい.			
	全部	119P (30分)	32-33	2012/06/19 07:07:40

しょう ☆☆☆	岩に描かれている人や動物は一見すると不気味で近寄りがたい，しかし一旦意味を知れば，その時代に生きていた人々の思想や心情が感じられて非常に尊いものだと思えた.			
	全部	112P (30分)	104,105	2012/06/15 16:52:10

R2 ☆☆☆☆	何千年という時を経てもなお残っている壁画を見ることで，サハラの歴史を感じ当時の人々の暮らしを窺い知ることができる．また，壁画が砂漠の風景の写真とあわさって，何とも神秘的な雰囲気を醸し出している. 太古の昔，そこには多くの川が流れていたということを知ってとても驚いた．壁画には船や魚，カバやワニが登場する場面もある．サハラという壮大な自然の歴史と，そこで暮らす人間の歴史を感じさせてくれる良い本だと思う.			
	1-112	112P (40分)	12-13，28-35，92-92	2012/06/06 12:21:05

historians ☆☆☆	絵画も良かったが、ところどころに出てくる砂漠の写真がとても良かった。 砂漠とはとても神秘的で、美しい。 いつか旅行に行きたい。			
	全部	119P (30分)		2012/05/29 11:39:13

ザ・ニンジャ『順逆自在の術』 ☆☆☆☆	砂漠の景色はよく写真でみられるが、改めて見て、自然の作る美しさを実感した。なんで、何もしていないのにこんなに美しくなるのだろうか。 壁画の方は、古代にもアーティストがいて、その人の作品だと思うとこみ上げるものがある。			
	すべて	119P (20分)	34,35	2012/05/14 23:46:09

コアラ ☆☆☆☆	サハラ砂漠の圧倒的なスケールを見て、実際に見てみたいと思った。 壁画が今も残っていることに純粋にすごいと思った。また、壁画は当時の生活を表している。歴史を紐解くうえでも重要な財産であると感じた。			
	1-119	119P (30分)		2012/05/14 18:26:52

	大昔に描かれた壁画が今もなお残っているなんてすごいことだと思いました。よく風化されなかったなと感心するばかりです。

かっしー ☆☆☆☆	また、読んでいてサハラ砂漠に是非行ってみたいと思ったのですが、著者曰く、喉が乾き何日も歩き続けなければならなず、とても過酷みたいなのであっさり諦めました（笑）。			
	全部	119P (60分)		2012/05/12 14:58:12

ken3 ☆☆☆☆	砂漠の写真は幻想的で美しかった。 「砂漠」と一括りにされていても場所によって景色が全く違うことが分かる。 ただメインは景色ではなく壁画のほう。 当時の人の暮らしを少しのぞけた気がした。			
	1-119	119P (30分)	1-119	2012/04/26 16:05:13

TOPへ

死刑執行人サンソン

著者名	安達正勝	発行年	2003年
出版社名	集英社	ページ数	237ページ
値段	700円	ISBN	978-4087202212
コメント	仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましき家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
o.p.p. ☆☆☆	死刑執行人って言ったら薄汚いフードを着た毛むくじゃらな野蛮な男がオノを振り回すイメージ。が、しかし。実際の執行人達は差別こそ受けていたもののフランス国王に認められ、お金も教養もあり、 プライドを持って仕事に挑んでいたのだという。 相当グロい処刑方法がいくつか載っていますが、こんなのを間近で見ていれば 「サクッと楽に死なせてあげよう」という発想にもなりますよ。 そうしてできたギロチンで敬愛する国王を処刑することになるのも、なんとも因果なものですね。			
	237	237P (200分)		2012/07/31 20:23:10
Quuyi ☆☆☆☆	死刑執行人が昔のフランスですごい差別を受けてることにびっくり。必要だろ。			
	全部	250P (180分)		2012/07/25 10:07:12
takenokonosato ☆☆☆	これを読むまでは死刑執行人という職業を意識したことはありませんでした。 死刑と聞くと、法的な問題や死刑台についてばかり考えがちですが、死刑を行う人という視点から見ると「死刑」が、違って見えました。			
	全て	237P (200分)		2012/07/21 16:00:55
みーるすとーん ☆☆☆☆☆	以前からフランス革命当時ギロチンが人道的だとされていたことの意味がわからなかったのだが、この本を読んで腑に落ちた。そういう経緯なら納得できる。 死刑執行人についての話という性質上、残虐な描写が多いが（淡々とした文体によってある程度緩和されてはいる）、得るところは多いように思う。			
	すべて	230P (149分)		2012/07/17 21:37:19

俺が村田だ！ ☆☆☆☆☆	大失敗！ 序章だけ読んで冊数を稼ごうと思ったのに、全部読んでしまった。 フランス革命について何にも知らなかったけど、当時の時代背景が飽きない程度に程よく解説されてて「もう一度世界史の授業を受けてもいいかも」と少しだけ思った。 ルイ16世を処刑する場面はサンソン本人の告白を聞いているようでもの凄い。自分の尊敬する人の首を自分ではねるって何かもう、、、 読んでよかった			
	全部	230P (180分)		2012/07/13 10:52:21

きちきぱ ☆☆☆☆☆	死刑制度があれば、死刑執行人がいる。 人を殺すのは何か。ギロチンか。いや、人を殺すのは人の意思だ。 人の作った法が、人を殺すのを認める。人が下した判決が、人を殺す。 関係のない話ではなくなった。裁判員制度が導入され、我々はいつでも人を合法的に殺しうることになった。 しかし、私たちが実際にその手を血に染めることはない。誰かが代行する。 現代にも死刑執行人はいる。 この本の時代とは違って直接的ではないにしても。 「なぜ君は絶望と闘えたのかー本村洋の3300日」も、合わせて読みたい。			
	8-241ページ	234P (300分)	41-45ページ	2012/07/12 17:54:46

wors ☆☆☆☆	ストーリー構成、人物の描写などとても良かった 死刑執行人の辛さに対して色々な思いを持ってるのが伝わってくる			
	8-62	55P (60分)	はじめから	2012/07/10 15:26:41

oiltaro ☆☆☆☆	ジョジョの7部のジャイロのモデルと聞いて読んだ。ジョジョの話の理解も深まった。			
	1ー237	237P (120分)	1ー237	2012/07/03 12:41:21

darvish ☆☆☆☆☆	死刑執行人はただ黙々と刑をこなしているだけかと思っていたが色々な葛藤が感じられた。 また伏線の張り方もうまく、のめり込むようにして読んだ。非常に良い本だと思う。			
	全て	237P (120分)	全て	2012/07/03 01:18:51

midnight express ☆☆☆	ギロチンが自由と平等の理想から導きだされた人道的機械であったことに驚き。読んでいて処刑方法とか気持ち悪くなりました。これを読んだあと、悪夢をみました。			
	237	237P (50分)		2012/06/21 19:22:49

bird ☆☆☆☆	フランス革命の時期の話は教科書や「赤と黒」などでなんとなく血なまぐさかったことを知ってる程度だったが、死刑執行人としての見方から革命を語られたことが新鮮だった。 特に印象深いのが、死刑の是非ではなく41pから45pの法律に従っているのに差別され、血筋のためにその宿命から逃れることのできないサンソンの主張の箇所。ここだけでも読む価値がある。			
	8-241ページ	234P (200分)	41-45ページ	2012/06/18 17:24:32

F-H304	人を死刑という形で殺してしまうのは正しいことであるのか？生きることとは一体何なのか？何を正しいと思い何を間違いであるとするのか？そして、もし人を死刑にするとしてどのような方法を取れば人としての威厳を保て、残虐でない方式の死刑に成るのか？そういうことを考えざるを得な

☆☆☆☆	いと思った。			
	1-237	237P (75分)	なし	2012/06/18 12:37:54

hitsea ☆☆☆☆	死刑執行人として生まれた人間の壮絶な生き様を知れたのはとても面白かったです．ただ中盤くらいの拷問や処刑の描写は自分にはきついものがありました．特にダミアンの件は正直読んでいて吐きそうになりました．			
	8-239	232P (80分)		2012/06/11 18:44:53

ahoyan ☆☆☆☆	仕事とはいえ生きた人間を手にかけるという行為は想像を絶する苦痛が伴うと思います。その中で、死に行く人を尊重し、なるべく苦痛のないよう配慮をしていたサンソン氏には敬服します。 かなり思い内容でした。			
	1-253	252P (120分)		2012/06/11 18:27:26

onion ☆☆☆☆☆	荒木さんの絵があるからという安直な理由で読み始めましたが、なかなか重い内容でした。タイトルで気づくべきですね。 でも読んだことは後悔してないです。 死刑執行人という仕事、とても大事だけれど、みんなに嫌われるという矛盾。 歴史ものにしてはとてもわかりやすく、サンソンさんに共感しながら読みました。 死刑制度には賛成はでしたが、この本を読んでもう一度考えないといけないと思いました。特に立ち読みポイントにした部分はサンソンの心の叫びがビシバシと伝わってきました。			
	1-253	253P (180分)	234-239	2012/06/08 16:14:15

Azel ☆☆☆☆☆	沸き立った群衆のシーンは読んでいて吐きそうになった。今の世界に生きる人間にはそのシーンを想像するのは異常すぎてかなりつらい。言葉にするのが難しい思考がいろいろと巡ってくる1冊だった			
	all	241P (307分)	143-	2012/06/05 09:43:03

20代男性 ☆☆☆☆	顔色一つ変えずに罪人の首をはね、人間らしさもなく、血に染まった死刑執行人は、市民から忌み嫌われている。 犯罪人を処刑するという行為の正当性を自身に信じ込ませてきたサンソンだが、フランス革命により敬愛する前国王ルイ16世を処刑することになってしまう。 死刑執行人を息子に継がせること、信念と職責の対立、人道的なギロチンが結果として多くの死刑を招いてしまったことなど、様々なジレンマが彼を襲う。 もし自分がサンソンの立場ならどうするかを考えながら読むととても興味深かった。			
	8-46ページ、137-241ページ	144P (120分)	41-45ページ	2012/06/04 15:29:57

TAN ☆☆☆☆☆	フランス革命を中学校で学びましたが、ルイ16世を尊敬するサンソンの視角から、違い風景と感想がありました。 残酷な描写が多いですが、同時に言葉の美しさを感じました。特にセンソンはルイ16世との初めて出会う時、ルイ16世の姿を描写する言葉がゴージャスと思います。			
	8-90ページ、178-199ページ	103P (200分)		2012/04/23 20:45:07

かやみん ☆☆☆☆☆	死刑の執行、死刑執行人の世界は全く知らなかったので、読んでいて興味が尽きなかった。 死刑執行人と王様の共通点、人道的なギロチン等、時代感が感じられた。 残酷な死刑描写を読むのはつらいが、その分、その時代の雰囲気、狂気をひしひしと感じられると思います。			
	全て	237P (180分)		2012/04/15 00:43:26

かっしー ☆☆☆☆	この本は、ルイ16世を処刑したシャルルーアンリ・サンソンのことだけでなく、サンソン一族のこと、ルイ16世の人となり、フランス革命の勃発からルイ16世が処刑されるにいたるまで等、当時の歴史的背景が詳しく書かれている。 また、ルイ16世は実は国民のことをよく考えている名君であったことや、実はギロチンは人道的配慮の元作られたなど、意外と知られていないことが書かれており、非常に興味深く、お勧めである。 しかし、この本には車轢きの刑や八つ裂きの刑などの処刑方法や、水攻めや足攻めなどの拷問方法など、残酷で過激な方法が鮮明に表現されているため、耐性の無い人にはお勧めできないため評価は4とした。			
	p8-29, p48-73, p86-199	162P (150分)		2012/04/12 16:38:31

TOPへ

戦争広告代理店

著者名	高木 徹	発行年	2002年
出版社名	講談社	ページ数	405ページ
値段	619円	ISBN	978-4062750961
コメント	世論は善悪をハッキリ決めたがる。バルカンの小国ボスニアは、アメリカの広告代理店の力を借りて、敵ユーゴスラビアを悪役に仕立てることに成功する。ほんとうの悪者はいったい誰？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
とんぺい ☆☆☆	戦争こそ人の歴史。 戦争には民衆を納得させる大義名分が必要なのは昔からだとは思うけど、現代のグローバルであり高度な情報化社会ではそれが強くなっていると思います。 昔なら国の権力者の一声で好きに戦争をできたんだろうけど、今は国際世論の目があるからおいそれとはできない。 戦争広告によってその国際世論を操作され、侵略戦争が正当化されることもあると考えると、これはちょっと怖いですね。 自分の目や耳に入ってくる情報を鵜呑みにしてはいけない。			
	1-150くらい	150P (90分)		2012/07/30 03:07:50
hitsea ☆☆☆☆	この本を読んでPR戦略の恐ろしさを思い知りました．また今後自分の耳に入ってくる情報に偏見を持つのはやめたいと思いました． ボスニアとユーゴの紛争についてほとんど知識がなかったので新たな知識を得られたのもよかったです．			
	14-405	391P (60分)		2012/05/30 14:57:56
由乃 ☆☆☆	本当にわずかな部分だけ濫読しました。 印象に残った部分は、 "ナルシストは、テレビカメラとマイクのプレッシャーに常にさらされるスポークスマンにとって必須の性格"			
	37-50	14P (15分)		2012/05/23 16:22:39
	広告が戦争の勝敗を大きく左右することと、一般人が新聞やテレビの情報だけで真実を知ることの難しさを痛感させられた。 人々の関心を引き付けて味方につけるための言葉を厳選し、様々な報道機関を巻き込みながら流行			

gorugo13 ☆☆☆☆	語に仕立てあげるドラマがとてもリアルに描写されていた。 まるでそれは、化学物質(言葉)を選び出して、ビーカー(世間)に投入して、目的の化学反応を起こさせる(世論を味方につける)といった、実験のプロセスと似ていて、意外にも身近に感じられたのが不思議だった。 広告代理店とは、言葉を扱うエンジニアリング集団だった。			
	1-405	405P (150分)	109-131	2012/05/16 11:10:42

ge90 ☆☆☆☆☆	ボスニア紛争は一見してセルビア人を悪者、モスレム人を被害者とする白黒はっきりした紛争だと思われがちだが、実際は双方の熾烈なPR戦略、情報戦の結果生み出されたイメージだった。 映画「エネミー・ライン」ではモロに悪者側として描かれていたので、そのイメージが作り出されたものだと知り衝撃だった。			
	1-405	405P (500分)		2012/05/15 12:55:05

bird ☆☆☆☆	世界の広告活動が戦争の行方さえ左右するということ、あらゆる業界にパイプを持つことに衝撃を受けました。 僕はボスニア紛争についての知識が全くなかったので全ページ読んでしまいました。物語調で読みやすかったです。 この本自体は時間軸に沿って話を進めているので、ボスニア紛争についての知識がある方は章ごとにパラパラ見ることができると思いました。			
	1-405	405P (360分)	14~17ページ	2012/05/08 10:16:15

TOPへ

日本列島の２０億年

著者名	白尾元理	発行年	2009年
出版社名	岩波書店	ページ数	100ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4000057707
コメント	写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんなふうに地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほれぼれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあらまほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ge90 ☆☆☆☆	綺麗な写真がつらつら並んでいて読んでて楽しい．中学校理科の地学とか高校地理の授業を思い出した．			
	1-100	100P (60分)		2012/07/31 21:29:58
Azel ☆☆☆☆	写真に刻まれた日本の大自然の姿に 小学校の頃 図鑑にはまっていた時代を思い出す あの頃は下手な大学生より詳しいんじゃないかレベルに図鑑にへばりついていた。 そして同時に嫌なことも思い出す。 昔テストで『褶曲山脈』を漢字で書いただけで✕にされひらがなで書けと言ってきた教師を許さない			
	all	90P (40分)		2012/07/30 22:12:52
Quuyi ☆☆☆	日本にこんなにも綺麗な岩の風景があることにびっくり。秋吉台しか知ってる場所がなかった。			
	全部	100P (20分)		2012/07/25 10:20:00
かやみん ☆☆☆	9,12,33の写真が気に入った。とくに９は陸から海へとつながるところまで写真に収められているところに色々と連想させられた。			
	1-50	50P (10分)		2012/07/25 04:49:16
ペンネーム考え中 ☆☆☆☆☆	とても気持ちよくページをめくることができました。 特に付加体関係と活褶曲、川流布・犬山チャートの大量絶滅層、石狩炭田、北上山地の層状石灰岩、この写真は良かったです。			
	1-100	100P (30分)		2012/07/25 03:44:54

とんぺい ☆☆☆	個人的にこのような自然風景を見るのが好きです。写真を見ると実際に足を運んで、目に焼き付けたくなりますね。見に行ったことのある場所の写真があると少しうれしいです(笑)。この本に注文を付けるとすれば、写真と解説を同じページか隣のページにして、同時に見れるようにしてほしかったです。			
	1-101	101P (60分)		2012/07/22 17:38:00

のん ☆☆☆☆	11の秩父長瀞は、中学時代に化石・地層の勉強に訪れたことがあり、懐かしくなりました。当時は、地球の見えざる力の大きさに畏怖の念も抱きましたが、こうして写真作品として眺めると美しさが際立って見えます。 岩や地表の写真が中心のラインナップの最後にコンクリート建物が広がる東京を持ってきたのは、示唆に富んでいて好きです。			
	全部	100P (10分)	70-71	2012/07/10 22:39:18

しゃおろん ☆☆☆☆	太古より大地に刻まれた地の痕跡。 地層や岩の表情からは、自然が常に動き続けていることを目の当りにした。 そして、人類もまたその流れの一部である。 しかし、その地の記憶は一瞬で失われてしまう儚さがあるのだろう。			
	全部	100P (20分)	60,61	2012/07/06 16:19:43

ごん ☆☆☆☆	自然が作り出す景色に圧巻！生で見に行きたくなります。でも、最後の東京のコンクリートジャングルはすごい。			
	全部	100P (20分)	70-71	2012/07/05 16:33:37

tottu ☆☆☆	自然の雄大さを感じさせてくれる一冊！絵だけ流し読みしても十分に楽しめる。個人的には95頁の「石灰岩の造形」がお気に入り。			
	1-50	50P (10分)	95	2012/06/26 02:16:52

nm ☆☆☆	ぱっと見て気づかないけど化石があったり、不思議な幾何学模様になっていたり、壮大な山の風景だったり、日本の色々な景色を見れます。 解説にはあまり興味を惹かれなかったけれど、写真を見て自然を感じることができました。			
	全部	100P (30分)		2012/06/10 13:42:13

プー ☆☆☆	山あり，川あり，街ありと日本のいろいろな風景の写真を集めている. 研究活動につかれたときにこれを見てどこか旅行した気分になりたいのなら，一度見てみては！？			
	1-99	99P (20分)		2012/05/28 09:01:52

しょう ☆☆☆	壮大な景色が写されており，見ているだけで心が安らぐ．地層や岩石の写真は解説を読みながら写真を眺めたいのだが，後半に解説がまとめて載っているので読みづらいのが難点.			
	1-99	99P (20分)	1-71	2012/05/23 13:18:02

コアラ ☆☆☆	厳選された50の風景写真が載っている。どの写真もスケールが大きいものばかりだった。本の後半には、それぞれの写真についての解説があり、気に入った写真については後半の解説を読むのがおすすめ。			
	1-99	99P (20分)		2012/05/11 14:35:21

R2 ☆☆☆	自然の風景には，写真からでも見る人に圧倒的な何かを感じさせ，惹きつけ，癒してくれる力があると感じた. 後半に解説が載っているので，写真を眺めていって興味をひかれる写真があったらその解説を読むようにするとより一層面白い. 最後が現代の東京の空撮写真だったのが印象的だった.			
	1-100	100P (30分)	20-21，38-39	2012/05/02 12:57:19

かっしー ☆☆☆☆	自然の風景の写真が好きな人には、非常にお勧め。 本書の構成は、前半は風景の写真、後半は写真の解説となっている。 しかし、解説のほうは、聞きなれない石の名前や、よくわからない専門用語が時々出てくるので、あまり読みやすいとはいえない。 よって、前半の写真部分だけ読み、興味のあるところだけ解説を読むことをお勧めする。			
	P3-101	99P (40分)	p9-71	2012/04/26 23:04:39

w ☆☆	自然の造形美に癒されたい方にはおすすめです。 後述されている地質学的解説と照らし合わせると、より楽しめます。 個人的に気に入った写真は、3.秋吉台の”太古のサンゴ礁”と19."丹沢山地の変成岩"です。			
	1-101	101P (30分)	30-33	2012/04/24 13:07:00

F-H304 ☆☆☆	あなたは活字が嫌いですか？嫌いでもこの本は読むことができます。特に、今回立ち読みポイントにした部分は日本各地の写真をまとめた所であるため軽い解説しかありません。文章をみると嫌気のさす人も、自然の素晴らしさを実際に見ることで感じることが出来ます。特に、個人的におすすめなのは22・23ページの12 浦島太郎寝覚の床――木曾川の花崗岩の部分である。個人的な理由だが、これは現地で直に見たことがあり少し親しみを覚えることが出来たからである。なお、これは中央本線の上松～木曽福島間（長野県：日帰りも可能！）から見ることもできるためこれを見て興味がわいた人はぜひ現地に足を運んでほしい。			
	1-100	100P (30分)	9-71	2012/04/14 16:29:57

TOPへ

武士の家計簿

著者名	磯田道史	発行年	2003年
出版社名	新潮新書	ページ数	203ページ
値段	680円	ISBN	978-4106100055
コメント	埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。維新を乗り切ったつましい暮らし。映画化、来ました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
七氏 ☆☆☆	『世襲制の崩壊は算術から』 『給料を決めるのは由緒であり現職ではない』 ここら辺の話は面白く感じた。 昔は世襲制であった身分制度も、算術に関しては「個人の能力」が強く効いてくるため、世襲では維持できない。そこで、能力に応じた登用を行うのだが、これが次第に別の役職にも広まっていき、官吏性などに行きつく。集団が成熟・拡大してくると、どうしても能力に頼らざる得なくなってくるという歴史を象徴しているようで面白かった。 経費で落とす、ということが出来なかった当時は、交際費がかさむ役職に就くと一気に借金地獄ということで、恐ろしい世の中だと思う。 その原因として、給与が「現状」を考慮せず、「由緒」によって決まっていたためということで、何とも非合理的なことをしているなと思う。 武士の時代に生まれなくて良かった！と思ったが、 数百年後の世界からしたら、私たちの今住む世界はどう思われるのだろうか。			
	1-49	49P (20分)	47-49ページ	2012/07/09 19:52:27
F-H304 ☆☆☆	今の日本も経済的に困難な状態に陥っている。そんな時、どのような対策を行えば危機を乗り切ることが出来るのであろうか？そのことを強く考えさせてくれる本だと思った。特に、武士が借金返済のため自分の大切にしていた洋服を売ってしまったところに感激した。今の日本の政治家も、自らの身を削る努力がもっと必要なのではないかと考える。			
	1-203	203P (60分)	なし	2012/06/15 08:21:51
キノコ ☆☆☆	映画の原作本とのことだったが，中身は時代考証の本だった．前半部は，家計簿を基にした武士の生活に関するものだったが，後半はよくありそうな明治時代の氏族についてだった．個人的には前半部のほうが面白かったので，映画も見てみたい．			

	全部	218P (150分)		2012/06/05 12:40:17

hitsea ☆☆☆	ドラマになってたことから小説形式だと思っていたが，実際は歴史考証の本であった．歴史が好きな人は面白いのかもしれないが，自分には少々読むのに体力が必要であった．			
	全部	201P (180分)		2012/05/15 12:42:22

20代男性 ☆☆☆	小説かと思って読んだら違いました。 著者の丹念な研究のおかげで、江戸時代の武士の生活がありありと伝わってくる。 立ち読みポイントは江戸時代の書籍や茶碗、着物などの値段が、現在の価値にするとどのくらいかが書かれていて興味深かった。			
	13-103ページ、217,218ページ	93P (90分)	62,63ページ	2012/04/24 11:53:12

R2 ☆☆☆☆	一体、武士は何にお金を使い，どのようにお金を得て生活していたのか．そのことがよく分かり，面白い．驚いたのは，武士が武士であるためにはお金がかかるということだった． 江戸時代の制度や風習についても詳しく書かれており，思いがけず東大の「赤門」が建てられた理由まで知ることができた． 算盤一挺と筆一本で身を立てていった猪山家の人々の暮らしを知り，「学」の大事さを改めて感じた． しかし，たまに読めない漢字が出てくるのは自分に「学」がない証拠か…			
	1-203	203P (180分)	32-38ページ，68-72ページ，76-79ページ	2012/04/13 23:43:19

TOPへ

江戸の可愛らしい化物たち

著者名	アダム・カバット	発行年	2011年
出版社名	祥伝社新書	ページ数	231ページ
値段	780円	ISBN	978-4396112622
コメント	妖怪さん達の週刊誌ネタ。親分肌の見越入道さんや、ストーカーのろくろ首。キャラに入り込めるとより親しみが増します。 こういうのをさらさら読んで、大笑いしてた江戸人たちのリテラシーの高さにびっくり。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みーるすとーん ☆☆☆☆	江戸時代に流行った化物絡みの物語について、現代風の解釈をしながら紹介している。 時代が下ってもそれほど人間変わらないのかもしれない。そんなことを思った。 やってることの割に微妙に絵面が怖いのはさすが化物といったところか。			
	すべて	231P (67分)		2012/07/27 11:00:47
takenokonosato ☆☆☆☆	江戸時代の人の発想を目の当たりにできて興味深かった。 昔の人って何を考えているのかわからないようだけど、160-163の男のエステを読んで、今にも通じるような気がした。			
	全部	231P (60分)	160-163	2012/07/21 15:56:12
だもん ☆☆☆☆	豆腐小僧が思ったよりかわいくなくてショックだった。 映画『豆富小僧』のはかわいかったのに。。			
	48-59	12P (5分)	52-55	2012/06/28 14:48:01
ダンボール ☆☆☆☆	小話がいっぱい詰まっていて、好きなところから気楽に読める。 物語の面白さや題材は現代でも通用するところがあるが、それ以上に筆者の語り方が物語をさらに面白くしている。ももんがあの紹介で、「現代風にいうと冴えないオヤジというキャラである」はひどいwと思った。			
	1-227	227P (60分)	35ページ以降本章	2012/06/15 13:27:18
	全体的に面白い。interestingというよりはfunnyである。そのまま落語にでもなりそうなうまい話も多い。			

20代男性 ☆☆☆☆	化け物というのはフィクションだと思っていたが、江戸時代にここまで細かく設定が考えられていたところを見ると、江戸時代には実際に化け物がいたのではないかと思ってしまうほどだった。 江戸時代の暮らしで現代に通ずるところと、そうでないところが見られた。立ち読みポイントは特にひどい箇所をあげた。			
	35-87、104-123、200-227ページ	101P (60分)	48-51	2012/06/12 11:20:53

bird ☆☆☆☆	たまにはさらっと挿絵が載ってる本が読みたいときにおすすめ。 江戸時代も現代も人間はそんなに変わらないそくめんがあるんだなぁ・・・			
	1-227ページ	227P (120分)	140	2012/06/05 12:13:35

ken3 ☆☆☆☆	フリーター、草食系男子なんかは昔からいたんだなと感慨深くなった。 「妖怪」というある種のフィルターを通して世間を風刺するのも今と変わらないと思う。			
	10-143	134P (80分)	64-67	2012/05/15 12:47:13

ahoyan ☆☆☆☆	妖怪じゃなくて化物の面白おかしい話が盛りだくさん。 結構面白かった。			
	1-30、125-219	100P (45分)		2012/05/08 12:37:13

上からトトロ（仮） ☆☆☆	わたし、あなたのこどもができちゃったの！ ・・・怖い世の中です。			
	172-183	12P (10分)	180	2012/05/01 13:01:31

きちきぱ ☆☆	江戸時代の漫画とはどうだったか、を知ることの出来る本だと解釈しました。 今でも笑えるようなネタ、全くツボの分からないネタ。時代を超えたジェネレーションギャップを感じます。 時代物のドラマや映画を見るのとは一味違って、この時代にもこういう楽しみがあったのかと感じます。 なにより筆者が外国生まれというのが驚きです。 半分はイラストです、倍速で読めます。			
	3-87ページ	85P (60分)		2012/04/17 21:09:00

TOPへ

トランクの中の日本

著者名	ジョー・オダネル	発行年	1995年
出版社名	小学館	ページ数	98ページ
値段	2,500円	ISBN	978-4095630132
コメント	たぶん戦争体験って、こんなふうにしか手渡してゆけないのかもしれない。 ハエが真っ黒にたかったりんご（90ページ）とか、アルミニウムのお盆（30ページ）とか、そして彼の代表作と称えられる96ページの少年……痛みなしでは受けとれない。 写真の重み、それが語るドラマの重みを受けとめつつ、並記されている英語のコメントにも目をとめてください。それもまた、ジョー自身が刻んでいったたいせつなメッセージだから。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
41 ☆☆☆☆	廃屋と化したカテドラルが印象的でした。キリスト教の国であるアメリカ(白人にとっては)が同じキリスト教の大聖堂を原爆で吹き飛ばすということに、宗教に対する疑問と人間の所業の残酷さを感じた。			
	すべて	113P (20分)	p104とp105	2012/07/31 20:33:53
こっこ ☆☆☆☆	赤ちゃんをおぶった子どもの写真は何度も見たことがあったが、 どのようなシーンを切り取った１枚だったのかは知らなかった。 写真を撮影したアメリカ人自身も被ばくによる健康被害に苦しんだ という話がさらに衝撃的だった。			
	1-98	98P (60分)	p71, 96	2012/07/30 23:43:54
TAN ☆☆☆	戦争反対！			
	71-91ページ	20P (30分)		2012/07/30 17:38:43
しゃおろん ☆☆☆☆	子供が子供らしく振る舞うことができない時に、人は社会として間違った方向にあることを知るのだろう。			
	全部	98P (30分)	96	2012/07/28 22:00:27
ごん ☆☆☆☆	みなさんのコメントにあった96ページの少年の写真はやはり強い力を持っていると思いました。子供たちの表情の裏に隠された感情は計り知れないと思いました。			

	1-115	115P (60分)	96	2012/07/27 15:45:19

w ☆☆☆	壊された街の様子は、東日本大震災の被災地のものとかぶった。 人にここまでの破壊をさせる、その原動力はどこにあるのだろうか。			
	1-98	98P (30分)		2012/07/03 15:55:39

F-H304 ☆☆☆	戦争って、最初は憎んでいる敵を倒そうと強く思い高い意識の中行動をすることが出来ることもあるが、実際に戦争が終わった後に現地に行ってみると自分の行動が正しかったのか疑問に思わずにはいられない。そんな気持ちが写真を撮れ！という強い気持ちとなって表れたのではないか？			
	1-98	98P (30分)	なし	2012/06/30 18:05:07

キノコ ☆☆☆☆	戦争体験は様々なところで見かけるが，やはり写真でみるのは生々しい. 世界各国に目を向けると，現在でもこのような惨状になっている地域もあるのだろうか……			
	全部	112P (30分)		2012/06/26 13:01:00

ボトムズ ☆☆☆	私は原爆を保有することによって周辺諸国の抑止力につながると考えている人間の一人だが、投下してはいけないと改めて感じた。			
	全部	96P (45分)		2012/06/12 10:32:42

historians ☆☆☆☆	街全体が瓦礫の山と化している写真は、東日本大震災の被害を写した写真と重なった。戦争の写真と天災の写真は、自分の心に永遠に残るものであろう。			
	全部	98P (45分)	96	2012/06/05 12:36:18

R2 ☆☆☆☆☆	96ページの写真と文章に，涙がこみ上げた. すべての写真と文が戦争の言葉にならないほどの悲惨さを伝えてくれる．読み終えた後は打ちひしがれてしばらく放心状態になった. 戦争を知らない僕たちが，戦争を知り，理解し，受け止め，伝えていかなければならないと強く思う．この本はそれをするための大きな助けになる.			
	1-98	98P (50分)	96	2012/05/09 15:35:43

のん ☆☆☆☆	96ページに、泣いた。			
	1-98	98P (60分)	96	2012/05/04 10:14:05

TOPへ

昭和元禄落語心中 1・2

著者名	雲田はるこ	発行年	2011年
出版社名	講談社	ページ数	155ページ
値段	562円	ISBN	978-4063805147
コメント	噺家の世界。それだけで興味しんしん。 人物造型の魅力だけでなく、昭和の暮らしぶりが、家のつくりから、ふとした所作まで、ほんとに丁寧に再現されていて、その懐かしさも魅力です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みーるすとーん ☆☆☆	寄席って案外演じ手がダイナミックに動くんだなと感じた。 話自体はまだ１巻ということもあって何とも言えない。			
	１巻	155P (21分)		2012/07/30 19:58:20
Azel ☆☆☆☆☆	落語のように 一般には余り中身の知られていない題材を扱った作品において、それを知らない人に読ませても引きこむことが出来る作品は珍しい。漫画自体の構成や描写が相当しっかりしていないと出来ない技。 たいていは、その説明に傾倒してテンポが乱れて話が崩れるか、一方的に読者を置いてけぼりにしてしまうかになる場合が多い。というか自分で書くとどうしてもそうなってしまう。見習いたい点がたくさんある漫画だった			
	all	300P (30分)		2012/07/27 11:59:11
だもん ☆☆☆☆	2巻しか読んでないから、よくわからないけど、 過去編のレトロな雰囲気が好きな人は、『幇間探偵しゃろく』も好きかも。			
	2巻	100P (20分)		2012/07/21 16:38:18
takenokonosato ☆☆☆☆	落語は古臭いイメージがあってとっつきにくかったけど、漫画で溶け込みやすかった。 落語見に行って、話し手の世界に巻き込まれてみたいなと思った。			
	２巻	100P (30分)	全部	2012/07/21 15:48:49
	背景や人の顔などとても丁寧に書かれている作品であった。マンガの形式なのでサクサク読めて良			

F-H304 ☆☆☆☆	かった。			
	1巻1-159	159P (30分)	なし	2012/07/18 18:46:58

きちきぱ ☆☆	単純に創作物として面白く、非現実らしい突飛な設定の感じは良い。 落語という伝統文化の片鱗に触れるにも極めてハードルが低く、きっかけ程度にはちょうどいいだろう。 でも、なんでこの講義で読むことになったんだろう？という大きな謎。講義とか関係なく読んだ方が良いと思うので星少なめで。			
	1巻	100P (30分)		2012/07/12 18:36:21

七氏 ☆☆☆☆	落語を生で見たことがないので、活字では理解しきれない部分がありました。漫画としては面白い作品です。 是非、今度寄席に行ってみたいと思います。			
	1巻	155P (30分)	なし	2012/07/11 14:39:50

とんぺい ☆☆☆☆☆	これは面白い！ ほんとうに「このマンガがすごい！」って感じです。 しかしやはり活字じゃ落語は想像しかできないので、こういうのこそ実写化してほしいですね！ 落語聞きに行ってみたくなります。			
	全部	155P (40分)		2012/07/10 16:43:39

historians ☆☆☆☆	落語という、どこかとっつきにくいものが、漫画の題材になっていると、親近感がわきやすくなった。更に続きも読んでみたくなる作品だった。			
	全部	155P (30分)		2012/07/03 12:14:19

yabaku ☆☆☆☆	落語やそれに関するドラマを映像で見たり、音声で聴いた事はあるが、漫画という媒体を通した落語の世界も面白いと思った。			
	1巻	155P (30分)		2012/06/26 19:40:18

キノコ ☆☆☆☆	チンピラが落語話となると「タイガー＆ドラゴン」が思い出されるが, こっちはこっちで面白かった．2巻なので大半が過去編だったが. 続きが読みたいが秋発売ですか……			
	2巻	155P (30分)		2012/06/26 12:46:12

俺が村田だ！ ☆☆☆	絵があっさりしててあまり好きではなかったけど、物語としては面白かった。テルマエよりも実写化して欲しい。			
	全部	100P (30分)		2012/06/04 13:59:34

wors ☆☆☆☆☆	落語の良さを伝えるいい作品だと思う。 ストーリーじゃなくて演技でありドラマのようなものであり、その表現力が人の心を動かすさまは見ててとても楽しかった。			
	1巻	155P (40分)	最初から	2012/06/03 17:19:55

ナラヅケ ☆☆☆	現代の若い世代にはとっつきにくくなった落語ですが、その魅力がこの本によって、少しだけ感じ取れました。 でも、やはり落語は実際の話している音を聞いて楽しめるものだと思うので、この本だけでは限界があります。実際にCDでもつけてくれればよかったのにな…。 この本で、落語に興味を持った人は、昔NHKの朝の連続テレビ小説で放送されていた「ちりとてちん」を見ると、もっと落語にはまるのではないでしょうか。			
	2巻全部	155P (30分)		2012/06/02 15:08:01

ごん ☆☆☆	2巻も読みたくなる展開です！ 主人公の落語がガラッと変わるところは見所です。何においても「人に聞いてもらいたい」という思いは、相手に伝わるものですね。 プレゼンしかり、音楽しかり。			
	1巻	155P (30分)		2012/05/29 12:43:08

ken3 ☆☆☆☆	落語に興味はなかったが面白く読めた。 前提知識がなくても充分読めるが、あるともっと面白いかもしれない。			
	1.2巻	300P (120分)	1.2巻	2012/05/29 12:19:12

サン ☆☆☆☆	面白かった。 落語については詳しくないが、読みやすものとなっていた。 だがしかし、間違って２巻を先に読んでしまったため、最初に物語の流れを読むのに苦労した。			
	1-140	140P (20分)		2012/05/22 10:09:50

のん ☆☆☆☆☆	落語を舞台にした人間ドラマという印象を受けました。 プロの方々にとっては、共感できる部分・できない部分あるかもしれないですが、私にとってはすごくおもしろかったです。寄席に行きたくなりました。			
	1巻	155P (40分)		2012/05/18 20:09:46

上からトトロ（仮） ☆☆☆	落語家って笑点くらいでしか見てなかったけれど、読んでみておもしろそうだと思った。 助六の落語やってるシーンのところは本当に落語してる感じに読めると思う（二巻後半）			
	1，2巻	100P (60分)	一巻の其の四	2012/05/08 13:07:32

ペンネーム考え中 ☆☆	とにかく違和感がありました。 落語の修行いちよやってますよ的なノリの兄ちゃんが「落語萌え！」ってな感じのことをいいながら、噺家の世界風なことをやっていく、そんな印象の雰囲気漫画でした。 主人公である与太郎の落語への動機や、さしたる苦悩や葛藤もなく落語界に受けいれられていく展開も理解できませんでした。 ヤクザ上がりの噺家っていう設定も目新しくない気が・・。 表紙が渋くて期待していたぶん残念。			
	1,2巻	308P (200分)	第一話	2012/05/08 01:04:02

TAN ☆☆☆☆☆	内容も面白いし、絵もきれいです。 一番いいのは何のために精一杯努力する熱心です。 落語を聞いたことがありますが、半分に理解できなっかたです。			
	1,2巻	300P (200分)	その二の落語	2012/05/07 16:53:17

o.p.p. ☆☆☆☆☆	これは面白い。思わずアマゾンでポチったくらい。 立ち読みポイントにした、第四話の「出来心」を熱演(?)するシーンが好きです。 落語、見に行ってみようかな。			
	1，2巻の全部	308P (120分)	1巻115-150	2012/05/01 12:20:28

onion ☆☆☆☆	絵がすっきりしていて読みやすいです 落語っていうことに焦点をあてていて、 いろいろな知識も手に入ります 内容も面白くてのめりこみました！			
	1-100ページ	100P (60分)	八雲さんの落語	2012/04/20 16:54:03

ザ・ニンジャ『順逆自在の術』 ☆☆☆☆	落語をしているときの表情、背景、フォントがとても効果的に表現されていた。 私は、飛行機の中でしか落語を聞いたことがないけど、落語が聞きたくなった。			
	1,2巻	100P (60分)	八雲さんの落語	2012/04/19 18:23:50

佐倉 ☆☆☆☆☆	絵もすっきりしていて、非常に読みやすかったです。 テルマエ・ロマエの直後に読んだら、そのすっきり感を十分に味わえることでしょう。 一点印象に残ったところを一点挙げます。女性の噺家についてです。 女性の噺家っていないんですね。意識をしたことはないけれど、確かにそうだと思いました。 私の出身高校は、女子高なのですが、落語研究部がありました。親しい友人が部員でした。 有名、もしくはやはり珍しいものなのか、新聞で紹介されたりもしてました。 だからこそ女性が落語をするということが身近すぎて、そこまで珍しいとも思っていませんでした。 しかし、上に書いたように新聞に載るくらいなので、やはり女性が落語をするということは、なかなかないんでしょうね。 ここで、もちろん女性も落語をできるようになればいいのに、と思うと同時に、 「生まれたならそれが定めだ」 というセリフもその通りだと思いました。 私も常々男に生まれたら、と思っているのですが、それが定め、ですよね。			
	1,2巻	100P (60分)	八雲さんと小夏さんのシーン	2012/04/16 08:12:06

TOPへ

図書一覧
書籍紹介
読者投稿欄
プロフィール一覧
自己プロフィール
掲示板

決断できない日本

著者名	ケビン メア	発行年	2011年
出版社名	文春新書	ページ数	232ページ
値段	819円	ISBN	978-4166608218
コメント	まだ記憶に新しい普天間の大迷走からトモダチ作戦まで。現場に立って戦い続けたアメリカの外交官のずばずばトークが痛いけれどここちよい。 鋭いだけでなく、ちゃんとユーモアが入っているところが、さすがタフ・ネゴシエーター（←日本外務省筋命名の彼のあだ名）。とくに188ページ「愛をささやく仕事」に爆笑。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ge90 ☆☆☆☆☆	こんな本を待っていた！ 分かりにくい日本の政治家の長話なんかよりこういうアメリカらしい現実的な歯切れの良い話の方が外交や安全保障を語るのに適している．基地問題は安全保障上の沖縄の地理的な重要性を国民が理解できないと解決できないし，そのために政治家が必要な説明をすべき．			
	1-232	232P (150分)		2012/07/31 21:28:14
Quuyi ☆☆☆	興味がない分野の本はやはり読むのに時間がかかる。惰性で最後まで読んでしまったが。 マスコミが正しいのかメアが正しいのか。わからん。			
	全部	232P (200分)		2012/07/25 10:28:31
F-H304 ☆☆☆	日本とアメリカの繋がり方について改めて認識することができた。東日本大震災のときのアメリカ軍の援助には多くの人が感謝している一方、普天間基地の移設やオスプレイの配置問題では揺れている日米関係について改めて考える機会になったのではないか。			
	1 - 232	232P (30分)	なし	2012/07/23 19:00:44
かやみん ☆☆☆☆	東日本大震災の時のアメリカの対応が読んでて興味を持った。 また、この本に書いてあることが本当かどうかはおいて置いて、報道は必ずしも正しいわけではないということを考えさせられた。			
	1-66,83-98,110-186	159P (90分)		2012/07/20 14:47:31
	言いたいことがあるのは分かるがこの本の書き方からは言っていることを聞くのが辛いなと思っ			

wors ☆☆	た。 伝えたいならもう少し考えるべきなのではないだろうか。			
	9-17	9P (5分)	特になし	2012/07/19 12:39:39

bird ☆☆☆☆	原発が爆発したときのアメリカの動きなど知らないことが書かれていて面白かった。 普通の世界地図をみると日本にとっては中国が大きすぎてちょっと怖いように感じるけど、111ページの中国から見た日本列島という図を見ると、中国にとって日本、沖縄、台湾って邪魔だなぁ・・・と感じた。			
	1-232ページ	232P (120分)	111	2012/07/03 16:27:25

20代男性 ☆☆☆☆	前沖縄総領事で問題発言で更迭されたメアさんの書いた本。問題発言の報道が出た当時は、さほど気にも留めなかったが、まさかそれがあるメディアの思惑により歪められたものであったとは！ 問題発言報道について、この本の内容が全面的に正確であるとは思わないが、日本のメディアよりは信用できる気がする。メディアは必ずしも中立ではないことを念頭に置いて、報道の元となる発言を自分で確認しないことには恣意的な方向に流されてしまう危険があると感じた。 立ち読みポイントで挙げた部分は、この本で特に共感ができた部分であり、失敗のない決断をしようと決断を先延ばしにすることが、すでに失敗しているのかもしれないと思った。			
	1-17、53-82、188-190、221-232ページ	62P (30分)	第七章	2012/06/26 11:45:37

サン ☆☆☆☆	著者はアメリカ国務省の外交官である。 日本側の考えではなく、一人の外交人がどのように日本が見えているかがよく示されている本である。 彼個人の主観的な味方ではあるが、日本人にとっては耳の痛くなる話も多くある。 時間もなく、早いスピードで読んだが、機会があればもう一度ゆっくりと読みたいと思った。			
	1-230	230P (70分)		2012/06/11 20:53:33

由乃 ☆☆☆	日本政府と東電との連携不足、および政治的パフォーマンスによって人命がおびやかされた関東大震災のことについてや、 米軍に110億の支援金を送ったけれど、その使い道についての承諾手続きがいかにもお役所仕事で、感謝にも勝るほどのイライラをアメリカの担当者に与えたイラク戦争時の話など。 親日の著者でもさすがにこれは酷いだろう、と思った日本政府の対応について知ることができます。			
	1-78,187-230	122P (45分)		2012/05/23 16:18:45

UT ☆☆☆☆	アメリカ側の視点から見た日米関係がよく分かる本。日本の置かれている現状なども外からの視点でよく書かれていると思います。			
	9-53, 109-146, 187-220	117P (100分)	第四章	2012/05/15 00:51:20

ahoyan ☆☆☆☆☆	作者が元国防省関係者であることから、偏った視点で文章がつづられていると予想していたが、国際常識にそった客観的な内容であった。領土問題や自衛隊に関する見方が少し変わるかも。			
	1-232	230P (60分)		2012/05/08 12:41:54

41	2章「嵌められた「ゆすりの名人」報道」の一部と3章「横紙破りの外交官として」を読みました。 報道により苦しい立場に立たされたケビンメア氏の外交官としての生い立ちを読み、交渉には仕事環境と上司の人柄、人脈は大事な要素であることがよくわかりました。すべての情報を出し合って			

☆☆☆	話し合いに望むべきであるということも今の日本にはとても重要だと思います。			
	51-61ページ, 83-108ページ	36P (15分)	83-108	2012/04/19 13:05:01

長野に先いかれた ☆☆☆☆	国務庁外交官前日本部長であったケビンメア氏の日米同盟の現実を直視した一冊。全般的に読んでみて、メア氏が本当に日本を愛してくれていることがよくわかる。政治の意思決定と戦略にはかならず現実的であることが問われていると思う。			
	1-145	145P (90分)		2012/04/12 14:53:18

TOPへ

被災地の本当の話をしよう

著者名	戸羽 太	発行年	2011年
出版社名	ワニブックスPLUS新書	ページ数	175ページ
値段	798円	ISBN	978-4847065224
コメント	陸前高田市長。大災害のまっただなかに立つリーダーのまっすぐなトーク。 天を怨むでも、人を恨むでもなく、苛酷な自らの運命を引き受けて、こうして前に進もうとしている人が北の大地にいることに励まされます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
由乃 ☆☆☆☆	霞が関の話があったが、自分の利害に固執せず、思いやりが持てる人がやはり一番素敵。 目的と手段を取り違えると、人は意図せずひどい行動を取ると思う。			
	44-65,149-155	29P (15分)		2012/07/08 01:07:02
七氏 ☆☆☆☆☆	講義中に泣いた。			
	全部	175P (90分)	22-65ページ	2012/06/21 19:44:10
takenokonosato ☆☆☆☆	大震災について忘れていた事がたくさんあった。 大学院にまで入って、こんなに授業出て、単位とるのに必死になっている自分が馬鹿馬鹿しくなってきた。 今年も夏には東北ツーリングで被災地を回りたい。			
	すべて	175P (60分)	68-101	2012/06/18 21:14:11
F-H304 ☆☆☆☆	我々の生活を一変させた東日本大震災から一年が過ぎましたが、未だに生活に苦しんでいる人は多いということを改めて実感しました。福島の原発の関係で家に帰りたくても帰ることのできない人もいます。そんな状況の人が１人でもいる限りは支援を送り続ける必要がある、と強く思わずには居られませんでした。自分に何が出来るのか？と考えて生きようと感じた作品です。			
	1-175	175P (45分)	全て	2012/06/05 23:26:14
こっこ ☆☆☆☆☆	震災が起きてから約4ヶ月後に出版されていることからも、復興をいち早く進めたいという市長の思いが伝わってくる。 今年は絶対被災地に行きたいと思う。			

	1-175	175P (90分)	108-115	2012/05/29 12:56:49

R2 ☆☆☆☆☆	東日本大震災で壊滅した岩手県陸前高田市の戸羽市長が震災から約4ヶ月後に著した本。そこには市長であり被災者であり家族を持つ人である戸羽市長の思いが直に書かれていた。 市長のリーダーとしての覚悟や信念、復興に向けた揺るぎない思いを強く感じた。市長の言葉を通して被災地の状況や被災者の気持ちが伝わってくる。 被災地や被災者のことを決して忘れず、これからも気に掛けていかなければならないと改めて思った。この本を読む機会がある今だからこそ、読んでおくべき本だと思う。			
	1-175	175P (80分)	すべて	2012/05/13 03:06:01

gorugo13 ☆☆☆☆	助けを求めながらも津波で流されていく大勢の人々や、変わり果てた妻の遺体に対面した時の心情がとてもまっすぐに表現されていた。改めて3・11の悲惨さを知った。			
	1-175	175P (140分)	140	2012/05/08 09:01:37

ダンボール ☆☆☆☆	市長として、家族の主として語られる事実はどんな統計データや写真よりも心を動かされる。被災者なのにどうして自分を責めるのか、いたたまれない気持ちになる。そして一部の国会議員の心無い対応に憤りを感じる。「東京が被災しても、あなたは同じような態度をとるのですか」という投げかけがもっとも響いた。 濫読はおすすめしません。			
	全部	175P (120分)	最初から	2012/05/01 12:13:12

onicapla ☆☆☆☆☆	昨年の東日本大震災において岩手県最大の被害を受けた陸前高田市。著者の戸羽さんは、この震災の1ヶ月前に陸前高田市長になったばかりだった。この本は現場の人の声であるためとても説得力がある。中でも「被災者は『24時間被災者』なんです」という表現はしばらく忘れないと思うし忘れてはいけないと思う。また非常に読みやすいので、立ち読みなどと言わず、是非手に取った人には全て読んで欲しい。震災から1年経ち、被災地のこともあまり報道されなくなった今にこの本を読めたことは自分にとって大きな意味があった。			
	1-175	175P (180分)	全部	2012/04/18 15:53:06

長野に先いかれた ☆☆☆☆	まず、気がめいっている最中でも、書いてくれた市長に感謝します。今日の行きの電車の中で、涙と鼻水流している人を見かけたらたぶんそれは僕です。 目的は、現場を知ることそして決して忘れないこと、これに尽きると思う。 文体もストレートで速効性が感じられていい。全部読むことをお勧めします。ただ、欲を言えばもっと書いていただいても大きな本として出してもよかったと思います。 本の好みはこういうものに変わってきたと思う。正直、世にたくさんあるごみのような経済の一般書読むよりは全然ましだと思います。			
	1-175 (全部)	175P (80分)		2012/04/17 10:32:21

TOPへ

地図で読む東日本大震災

著者名	成美堂出版編集部	発行年	2011年
出版社名	成美堂出版	ページ数	95ページ
値段	1,050円	ISBN	978-4415110028
コメント	より鳥瞰的に。 ひとつひとつの地図からグラフから数字から、さて何を読みますか。 たくさんの回答が導き出せるはず。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Azel ☆☆☆☆	原発だらけの県に住んでて地元で揉め事も起こってていろいろ厄介なところで 災害予想図とか怖いものを見てしまった			
	all	95P (50分)		2012/07/30 22:43:04
moe273g ☆☆☆	写真などはあまり無い。ただ数値的な事実を正確に、淡々と述べている。比較対象がもう少し多ければよりわかりやすい本になったと思う。調べようと思えばネットでこの程度の情報ならば出てくるのではと思いましたが、それがしっかりまとまっている点では良いと感じました。			
	全て	95P (30分)		2012/07/30 16:44:25
TAN ☆☆☆☆	大震災の被害状況をまとめた本です。津波の浸水が俯瞰するページは、津波の恐ろしさ、被害の大きさが露わになっています。			
	全て	95P (60分)		2012/07/25 18:39:24
のん ☆☆☆	視覚的に理解しやすい。 しかし、とくに福島原発事故の話をするときに、影響が地域的・内容的に限定的に語られている気がして、少し物足りなかったです。			
	全部	95P (20分)		2012/07/10 22:19:51
しゃおろん ☆☆☆	震災被害の全体的な概要を地図や写真、統計を用いて上手くまとめていた。東北地方全体を概観し、大きな流れを把握するのに役立った。また、今後の災害に対する備えの必要性も数値を基に示していた。			

	全部	95P (40分)	18,19	2012/07/06 15:20:33

サン ☆☆	ニュースで聞いたことのある情報をきれいにまとめてくれた本です。 もう少し写真が多く掲載されているかなぁと思っていたが、そうではなく、やはり題名通り地図が中心。			
	1-95	95P (20分)		2012/06/14 21:16:46

nm ☆☆☆☆	東日本大震災に関することが、様々な視点から、俯瞰的に書かれていて、勉強になりました。 また３月までよく目にしていた当時の状況の写真を久しぶりに見て、改めてショックを受けました。			
	全部	95P (60分)		2012/06/10 17:45:28

こっこ ☆☆☆☆☆	被災地のことを全然知らなかったので、勉強も兼ねて読みました。数字で見る被害の大きさにも驚きですが、地図で眺めると地形と被害の様子がより鮮明に見えてきて衝撃的でした。時間がたって原発事故の話題もあまり報道されなくなってきましたが、まだ終わってないんだということを再認識しました。			
	1-95	95P (60分)	5-11ページ	2012/05/22 12:47:49

onicapla ☆☆☆☆	東日本大震災から一年経過した。日本人は楽観的な人が多いのか、もうかなり記憶は薄れ平和モードに入っていると思う。ただ、福島など被災地の人々はまだまだ震災以前の生活には戻ってはいない。P6,7を見ると、ああ、関係の無い人でもまだ風化させるにはあまりに早すぎるなと思った。			
	1-95	95P (60分)	6-7	2012/05/21 17:15:52

ge90 ☆☆☆☆	社会の資料集みたいに１ページの情報がとても見やすくまとまっており、面白い。 日本全国の防災マップのページ、東日本大震災前後の地殻に働く力のページ（なんと東日本全域で地殻に働く力が反転してしまっている！）は必見。			
	1-95	95P (60分)		2012/05/15 12:59:06

とんぺい ☆☆☆	3.11の震災の被害が鳥瞰的に、テレビのニュースにはない視点で見ることができました。60-61pが東京の災害危険度のマップなのですが、自分の住んでいる場所の危険度を知っていて損はないと思います。			
	1-95	95P (60分)	10-17,60-61	2012/05/11 22:39:14

ごん ☆☆☆	今回の地震の被害状況がビジュアルで分かりやすく示されています。6-7ページの写真は、今でも衝撃を受けます。今回の地震がどんなものだったのか、もう一度振り返りたい人にお勧めです。			
	1-95	95P (60分)	16-17	2012/05/08 13:05:51

historians ☆☆☆☆	震災の被害は、写真で見る方が映像で見るよりも衝撃的だった。地図という切り口で震災をまとめていった点も面白かった。			
	1-95	95P (30分)	3,4ページ	2012/04/10 16:01:17

ＴＯＰへ